

業務用自動ガス遮断装置

遮断弁 MV-20T、MV-25T、MV-32T、MV-40T 形 取付説明書 施工される方へ
 MV-50T、MV-50TA、MV-80T

■設置工事の前に

遮断弁を正しく設置していただくために、また、施工者やお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するために、この取付説明書には下記の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認のうえ本文をお読みください。

	警告	作業を誤った場合に取付作業者または使用者が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	作業を誤った場合に取付作業者または使用者が傷害を負う場合あるいは物的損害の発生が想定される内容を示しています。
		一般的な禁止

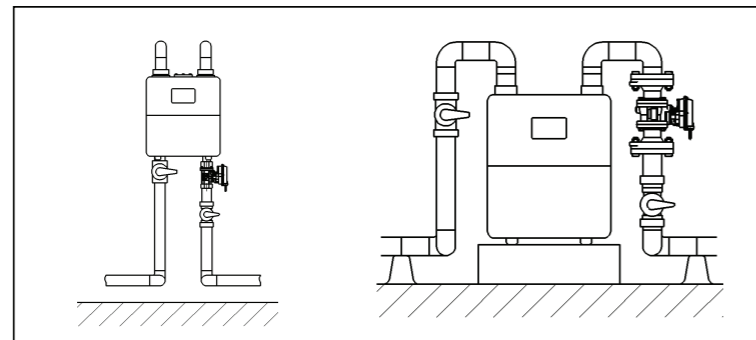
設置工事にあたり、同梱の付属品(P.4参照)に不足がないことを確認してください。また、配線工事を実施する場合は、操作器(YCB-13E)に付属されている「設置工事説明書」もご準備ください。

■工事される方へのお願い

	警告	設置工事にあたっては、必ず配管工事の有資格者が工事を行ってください。この遮断弁を安全に正しくご使用いただくために、本取付説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。
--	-----------	---

■取付位置

1. 遮断弁はガスメータ付近の出口側配管へ取付けてください。



※ 遮断弁に対するバルブの取付け位置は特に規定しません。(上流、下流どちらでも構いません。)

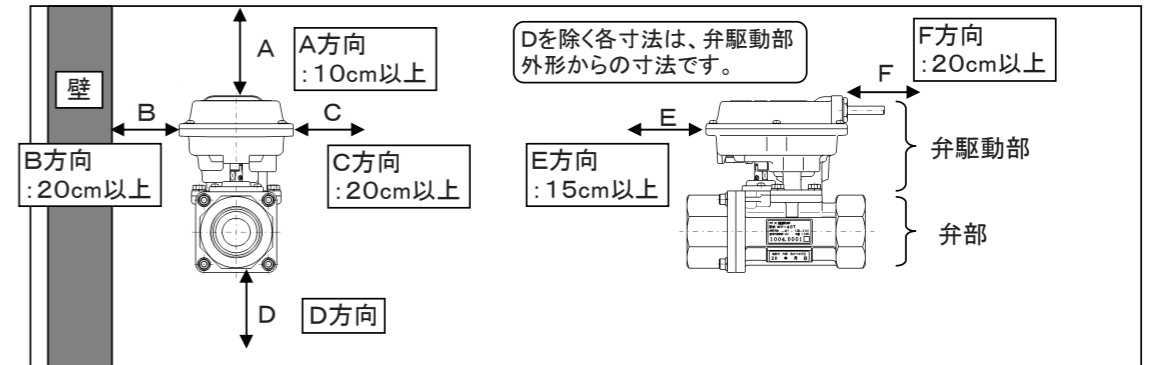
2. 遮断弁は次のような場所に取付けないでください。

	注意	●維持・管理に支障のある障害物のある場所。
		●もれたガスが停滞する恐れのあるいんべい場所。
		●温度が-10℃以下、または60℃以上になる場所。 ※ 上記範囲内であっても常時低温・高温になる場所への設置は、避けてください。
		●屋内・屋外において、水しぶき・蒸気など、常に水気の影響を受ける場所。
		●水没する恐れのある場所。
		●石油類や薬品類など、危険物を貯蔵する場所。
		●受電室・変電室など、高圧電気設備を有する場所。
		●動力・車両などにより、振動を受ける場所。 ●避難通路等、人の通行の妨げとなる場所。

3. 遮断弁は、取付作業及び維持管理上、支障のない場所へ取付けてください。

- 遮断弁は、取付作業及び維持管理上、支障のない下図のスペースを確保できる場所へ取付けてください。
- 各形式別製品の外形寸法は、P.3の『■取付方法 3. 配管との接続について』に記載されていますので、各製品外周に下図の各スペースを確保できる設置場所を選定してください。

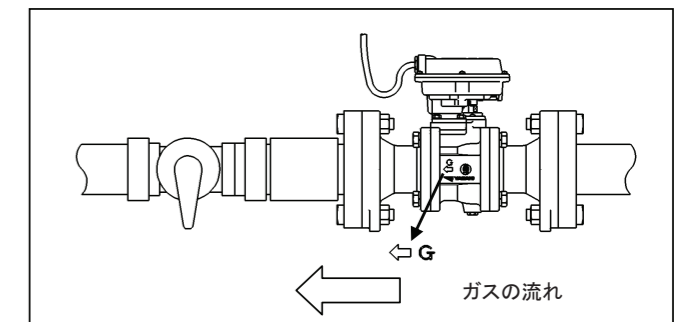
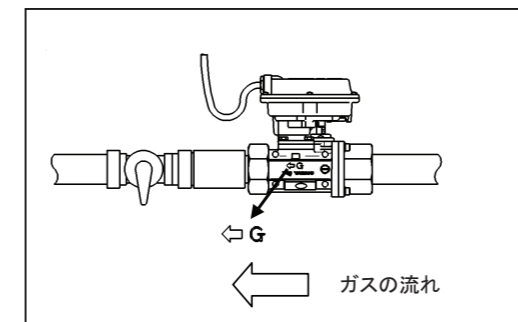
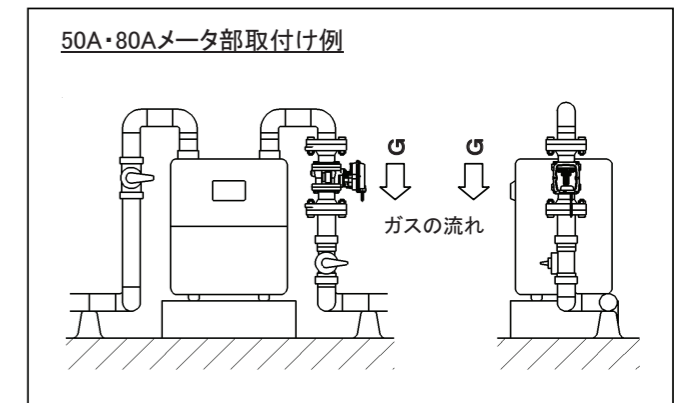
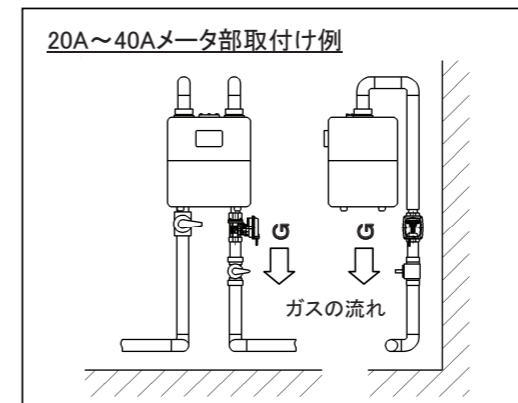
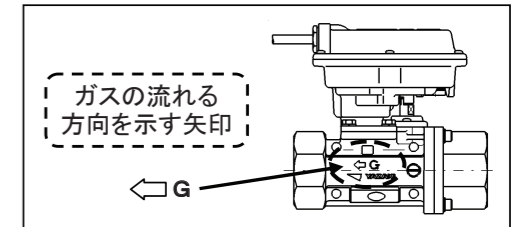
下図の位置(図の左側に壁)に取付けた場合を例にして必要スペースを示します。



■取付方法

1. 遮断弁表面に表示されているガスの流れを示す表示に従って施工してください。

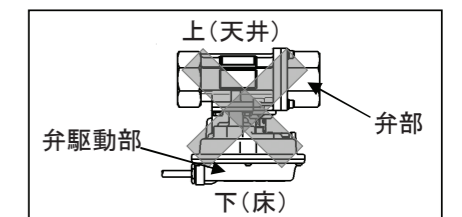
- 注意** ● 遮断弁表面に表示されているガスの流れの向き『← G』を確認して設置してください。
- 注意** ● 出入口を逆に接続すると、本来検知すべき下流の圧力を検知できません。



2. 取付姿勢

弁駆動部が下になる姿勢(右図)以外での取付けは可能です。設置場所・環境に沿った最適な姿勢で取付けてください。

- 禁止** ● 弁駆動部が下になる姿勢で取付けないでください。誤作動の原因になります。



3. 配管との接続について

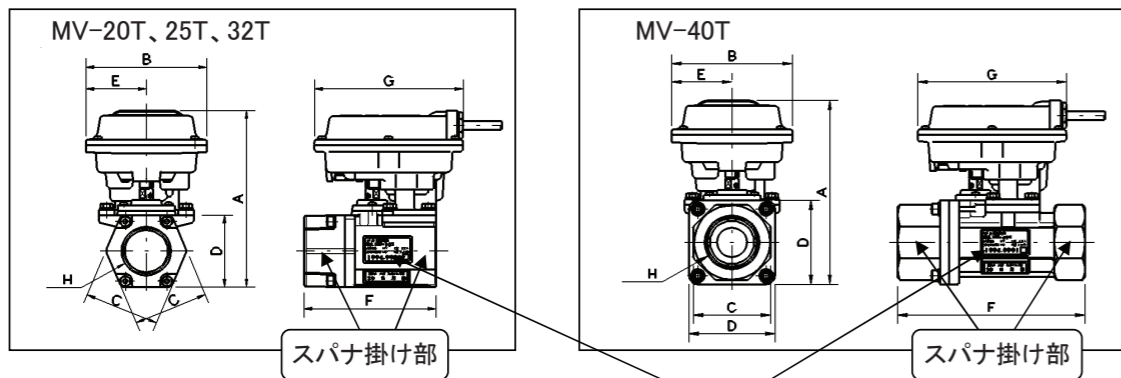
1) MV-20T、MV-25T、MV-32T、MV-40Tの場合

- ⚠ 注意 ● 本体のスパナ掛け六角部または八角部の寸法(二面幅)は下表のとおりです。各寸法に合った工具を使用してください。
- ⚠ 警告 ● 本体のねじ部は、十分な強度を持っていますが、過度に締付けると破損の恐れがあります。下表の締付けトルクを目安として、締付けてください。
- ⚠ 警告 ● ねじ部には、耐ガス用不乾性または半乾性シーラントを塗布した状態で締付けてください。シーラントの使用は避けてください。シーラントと耐LPガス用シーラントとの併用は、おねじを過度に締付ける原因となるため、絶対に避けてください。

形式	二面幅(mm) [下記・C寸法]	締付けトルク目安 (N・m)
MV-20T	68	60
MV-25T	68	100
MV-32T	68	120
MV-40T	70	150

⚠ 警告

- 本遮断弁と配管等を接続する際、テーパねじの切粉やシーラントが製品内部に入らない様にご注意ください。切粉やシーラントによって、弁のシーラ性が損なわれる可能性があります。なお、弁部への切粉やシーラントの付着を防止するため、配管への締込みは弁開状態で実施してください。(出荷時は弁開状態)

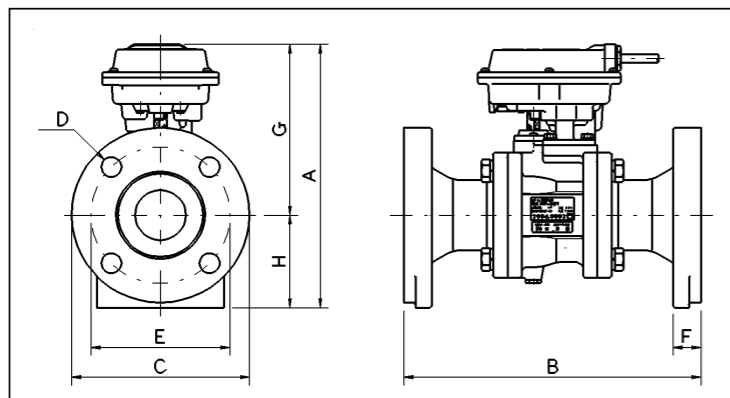


- ⚠ 注意 ● ラベルにキズが付きまますので、ラベル貼付箇所にスパナを掛けしないでください。

形式	A	B	C	D	E	F	G	H
MV-20T	164	110	68	67	55	100	135	Rc3/4
120						Rc1		
170						Rc1・1/4		
MV-40T	171		70	78				Rc1・1/2

2) MV-50T、MV-50TA、MV-80Tの場合

- 遮断弁本体とフランジの寸法は下の表です。製品同梱の組フランジ[JIS B 2301 I形の組フランジ(ねじ込み式可鍛鉄製管継手)]を使用してください。



⚠ 警告

- ガasketに塗布するシーラント(ガスケットペースト)が製品内部に入らない様にご注意ください。シーラントによって、弁のシーラ性が損なわれる可能性があります。なお、弁部へのシーラントの付着を防止するため、配管への接続は弁開状態で実施してください。(出荷時は弁開状態)

形式	A	B	C	D	E	F	G	H	使用ボルト
MV-50T	233	230	φ126	φ15	φ95	20	165	68	M12×4本
MV-50TA		270							
MV-80T	254	280	φ168	φ19	φ131	26		89	M16×4本

4. 取付け時のその他注意事項

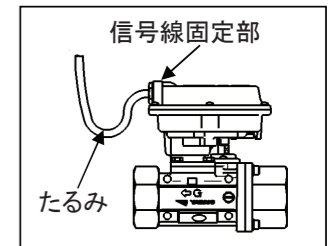
- ⚠ 警告 ● 取付け作業にあたり、遮断弁本体外周のねじ・ボルト類を緩めたり、傷つけたり絶対にしないでください。ガスもれなどの事故発生や、故障の原因になります。
- ⚠ 警告 ● 本製品は、精密機器です。取付け作業中に落下等で製品に衝撃が加わると、外観上支障がなくても、内蔵している部品が破損している可能性がありますので、絶対に衝撃を与えないでください。

■ 操作器との接続

操作器との接続は、別紙 操作器(YCB-13E)に付属されている「設置工事説明書」にしたがってください。

遮断弁形式	MV-20T、MV-25T、MV-32T、MV-40T MV-50T、MV-50TA、MV-80T
適合操作器	YCB-13E

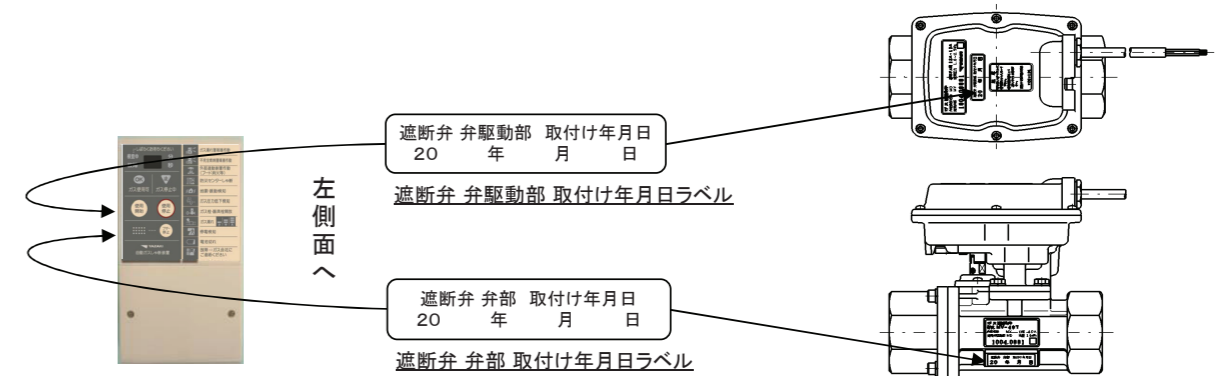
- ⚠ 注意 ● 信号線にたるみを持たせた状態で接続してください。また、信号線を引っ張らないでください。信号線固定部に無理な応力が加わって断線の原因となります。



■ 取付け年月日の記入

1. 遮断弁を新規で取付ける場合

設置工事完了後、弁部・弁駆動部・操作器に貼付されている弁部と弁駆動部の取付け年月日ラベルに取付け日をご記入ください。ラベルは、弁部・弁駆動部に1枚ずつ、操作器の左側面に遮断弁情報ラベルが1枚貼付されています。



2. 遮断弁のみ交換する場合

遮断弁のみ交換する(操作器は交換しない)場合は、交換作業終了後、交換する新しい遮断弁の弁部・弁駆動部に貼付されている取付け年月日ラベルに取付け日を記入してください。更に、新しい遮断弁に付属されている弁部と弁駆動部の取付け年月日ラベルに、取付け日を記入後、操作器左側面に貼付されている遮断弁情報ラベルの各取付け年月日欄に、上から重ねて貼り付けてください。

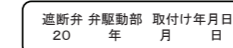
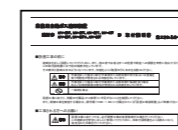
■ 付属品

● 添付書類

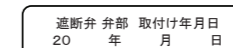
・本 取付説明書 1部

・保証書 1部

・遮断弁 弁駆動部取付け年月日ラベル 1枚



・遮断弁 弁部取付け年月日ラベル 1枚



● フランジタイプ(50A以上)用付属品

・フランジ 2個

50A用: 2インチ組フランジ

80A用: 3インチ組フランジ

・ガスケット 2枚

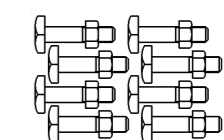
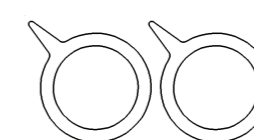
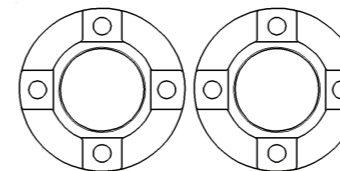
50A用: 2インチガスケット

80A用: 3インチガスケット

・ボルト、ナット 各8個

50A用: 12ミリボルト・ナット

80A用: 16ミリボルト・ナット



● 配線工事に用付属品

・絶縁キャップ 1個

コネクタ [(株)ニチフ端子工業製 差込形ピン端子]

・コネクタ(オス) PC 2005-M形 4本

・コネクタ(メス) PC 2005-F形 4本

